

R・B・K EYE

VOL. 91

2009. MARCH

編集責任 飯嶋 薫

1. アパレル業界に吹き荒れる「春一番」で疑心暗鬼が増幅

百貨店の売り場を歩いていると、アパレルの経営者の方々に良く出会うようになりました。これまでは自社の売り場で派遣社員から話を聞き激励したり、百貨店の幹部との情報交換が「店まわり」のコースでしたが、最近はやや趣が違っています。

話して見ると「お客が入っていない」「去年からの売り上げ減では通常の資金繰りの範囲を超える」「たとえ景気が回復しても、この同質化した売り場にはお客様は戻ってこないのでは」「社内会議からは対応策は何もでない」など、深い危機感をにじませて売り場を回っているようです。

そこへ吹き荒れたのが大手アパレルの倒産の噂でした。「あそこも危ないらしい」「連鎖倒産も出るようだ」「取引先からも電話が殺到している」などまさに危機感あふれるものです。百貨店でも「撤退の申し出が増える傾向」「リスクをはったオリジナル商品づくりが課題に」など一気に問題が噴出したかのようです。

百貨店では売り上げが2月の二桁ダウンにつづいて、3月も一向に回復していません。

「この傾向は長期化する、何時回復するかも定かではない」こうなるともう「経営判断」として、「対応策を出さなくては社員も株主も納得しない」ところにきているようです。アパレル業界の「構造変化」は嫌でも急速に進み、立ち止まっている時は残されていません。

信用不安による「疑心暗鬼」の広がりを防ぐのは政治の課題であり、政府の緊急対策の成果が見えないなかで自力再生を目指すアパレル業界を応援したい想が強まるばかりです。

2. 青山が変わるか Ao (アオ) 40 店舗がオープン (紀ノ国屋)

建物構造は回遊性最悪

最高級スーパー「紀ノ国屋」が地下キーテナントで入居し「上質を常質へ」のコンセプトの都心型 SC の誕生です「シャネル」の香水と化粧品の世界初の路面店、トムフォードのフルライン展開をおこなう「EYEVAN」、ドイツの快適シューズ「ベアー」、パリの楽しいファンシー雑貨「PYLONES」、カフェと雑貨の「café table」、中でも一番人気で連日混み合っている上質なライフスタイル提案店「アントレスクエア」等、40 店舗が入居しました。オープン日に行った第一印象ですがテナント誘致は苦労しただろうと、ファッションは全く面白くないと、それにつけても回遊性が悪くもったいない建物構造だと、そして核テナントとして期待される地下の紀ノ国屋の存在が薄いなど、感じた次第です。都市型小型商業施設は青山周辺でみてもベルコモしかりパサージュしかりで難しいですね。但し Ao の「アントレスクエア」「PYLOONES」は人気店になること間違いなしです。都市型 SC の開発担当者は絶対欲しがると言います。

3. 初日 3000 人も並んだ「KITSON」ルミネ新宿

LA セレブ御用達の「キットソン」はビバリーヒルズに近いロバートソンブルバードにあります。日本のセレクトショップが憧れ見習った高感度セレクトは実は西ロスに集中して

います。最高峰の「マックスフィールド」そして「フレッドシーガル」「キットソン」等です。西ロスは東ロスと違いハリウッド、ビバリーヒルズ、ベルエアー等のセレブな高級住宅街を抱え、経済の動向と無縁なお金持ちが集中しているエリアです。モンドリアンやペニンシュラ、シャターズのガーデンテラスでカジュアルな格好で朝食しているセレブ達がロディオドライブと違い開放的でカジュアルなロバートソンプルバードで気楽に買い物しています。「キットソン」はそのようなセレブになくてもならない旬を提案するショップです。ルミネは以前より LA 定点視察を続け、世界をリードしているセレクト店を TOP 以下が理解していたので日本初出店がルミネ新宿にあつという間に決まったのではないのでしょうか。初日の売上が 1300 万円を超えこの時代にセンセーショナルを起こしています。

4. 中国地区で圧倒的人気の「PARIGOT」が岡山一番街へ

— 地方発の時代 —

尾道に本店があり広島地区に世界の高感度ラグジャリーセレクトショップ「PARIGOT」が初の SC 出店を「岡山一番街」にオープンし大変な人気です。オープン 3 日間売上は 1200 万を超えたそうです。同 SC は西日本 JR グループではテナントのレベルの高さと月坪効が最優秀の SC ですが 100 年に一度といわれるこの消費不況の中、ここでしか買えない、良いもの、欲しいものは欲しいといったお客様は確実にいることが立証される店舗でした。商品構成は 300 以上のブランドからセレクト又はコラボしています。バレンシアガ、クロエ、ミキミアリー、アレキサンダーワン、グリーンやリッチとのコラボ、パリの人気セレクトショップ「コレット」で扱っているラデュレの雑貨等が 40 坪の店内に豊富に揃っています。恐らく都市型 SC でここまでインポート中心のラグジャリーセレクトが入店したケースは初めてではないでしょうか。地方には世界のデザイナーが認める博多のセレクトショップ「マイノリティ」等、上顧客を確実につかみ常に世界の情報発信をしているショップがあります。ファッション文化の担い手は東京だけではありません。岡山一番街「PRIGOT」注目です。

5. Ristorante La Barrique TOKYO

文京区の江戸川橋という住宅街の一角にひっそりと立つ築 60 年の日本家屋を改装したイタリアンレストラン「リストランテ・ラ・バリック・トウキョウ」。マンションの駐車場の奥にひっそりと立つこの素敵なレストランは、もともとオーナーソムリエの坂田一郎さんの実家。靴を履いたまま入るには、ためらう程趣のある邸宅。イタリアのトリノの修業先から名前をもらったこのレストランを、共に「リストランテ・アカーチェ」出身の伊藤延吉シェフと手掛けている。まずお店に入るととてもエレガントな日本家屋の雰囲気魅了される。そして席につくと増々その空間の持つ魅力に心地の良い気分になる。ホールの人達の動作もしゃべり方も凜としているけどとてもおだやかで感じが良い。お料理はイタリアンだけどさりげなく加えただしの風味が香の豊かさを加えてくれている。アンティパストからデザートまで全て文句なく美味しいのだが、とくにアンティパストとプリモはどれも絶品。コースは 8500 円のプリフィックスコースか月替わりでイタリア各州の料理を紹介する郷土料理コース 6500 円、又は思う存分シェフの味を堪能したい人には 12000 円のシェフのお任せコースの 3 種類が用意されている。2 階に個室があるので接待の時に利用できる。特に外人の接待には最適の店。予約はかなり前からとらないと難しいので早めの予約をお勧めします。

東京都文京区水道 2-12-2 TEL03-3943-4928

営業時間：11：00～13：30 (L/O) 18：00～22：00 (L/O) 定休日：水曜日